

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

「災害レジリエンスの共創と防災総合知構築への挑戦」

東北大学災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センター
キックオフシンポジウム（5月11日午後）

2022年4月1日、東北大学災害科学国際研究所は、本学内の部局ならびに防災科学技術研究所と連携し、「災害レジリエンス共創センター」を設立しました。災害レジリエンスとは、災害に対する「対応力」「回復力」「復元力」「強靭さ」を包括する概念として、2015年国連防災世界会議において世界的な目標として掲げられました。本センターは、様々なステークホルダーとの連携を通じて社会の災害レジリエンスを共創する取り組みを展開していきます。

本センターでは、「災害デジタルツイン構築プロジェクト」*をシンボルプロジェクトに据え、災害レジリエンスの最大化を実現するための「知の統合」に向けた戦略として、多様な研究分野において網羅的に蓄積される知識を集約し「レジリエンスを最大化するための」価値ある情報として体系付けしたものを「集合知の創発」という形で具現化します。また、長期的かつ広範囲に連携を発展させながら、新たな災害レジリエンス研究のパラダイムを共創し、社会実装をすすめてまいります。

2022年5月11日（水）午後、「災害レジリエンスの共創と防災総合知構築への挑戦」と題し、本センターのキックオフシンポジウムを、オンライン形式で開催します。シンポジウムでは、東北大学および防災科学技術研究所の関係者が集い、本センターの趣旨・構想をご紹介します。あわせて、パネルディスカッションや共同研究の募集案内も行います。災害科学研究に取り組む方々、防災ご関係者、災害レジリエンスにご興味がおありの方々に、ぜひ幅広くご参加いただけましたら幸いです。参加を希望される方々は、最後のページに記載する Google Formにてお申し込みください（申込締切：2022年5月9日（月）16時）。

【お問い合わせ】

東北大学災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センター
センター長：江川新一教授、副センター長：越村俊一教授
窓口：武田百合子研究員
Email: resilience-office@irides.tohoku.ac.jp
電話：022-752-2112（災害レジリエンス共創センター）、
022-752-2049（災害研広報室）



【詳細】

1. イベント名：

「災害レジリエンスの共創と防災総合知構築への挑戦」
東北大学災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センター キックオフシンポジウム

2. 日時・形式：

2022年5月11日（水）13：00～15：00、オンライン（Zoom）

3. 次第（予定）：

(1) 開催挨拶 大野英男 東北大学総長

(2) 来賓挨拶 黒沼一郎 文部科学省研究振興局大学研究基盤整備課長 様

(3) 災害レジリエンス共創センターについて

・趣旨説明

江川新一 災害レジリエンス共創センター長（東北大学災害科学国際研究所教授）

・構想説明

越村俊一 同・副センター長（東北大学災害科学国際研究所教授）

(4) 基調講演「災害レジリエンスをどうとらえるか」

林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長 様

(5) パネルディスカッション「災害レジリエンスの共創と防災総合知構築への挑戦」

進行（兼パネリスト）：

災害レジリエンス数量化研究領域 越村俊一

パネリスト：

ヒューマンレジリエンス研究領域 江川新一（東北大学災害科学国際研究所教授）

災害情報キュレーション研究領域 奥村誠（同左）

災害レジリエンス共創領域 小野裕一（同左）

防災科学技術研究所 防災情報研究部門 副部門長 田口仁 様

防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター 主任研究員 久保久彦 様

(5) 公募研究ご案内 「災害レジリエンス共創研究」の公募概要について

越村俊一教授

(6) 民間事業者様との連携体制構築のご紹介

(7) 閉会挨拶 今村文彦 東北大学災害科学国際研究所教授・所長

※シンポジウム後の30分程度、メディア関係者からのご質問にお答えする時間を設けます。

4. 参加申し込み方法（一般・メディア共通）：

参加ご希望の方は、下記申し込みフォームにてお申し込みフォームに必要事項をご記入の上、5月9日（月）16：00までにお申し込みください。
お申込み後、参加方法（Zoomリンク等）に関する情報をお送りします。

【フォーム】

<https://forms.gle/1Z8QchqJJDhzqHuCA>

QRコード



5. その他ご参考

*「災害デジタルツイン構築プロジェクト」

災害レジリエンスの最大化を実現するための「知の統合」を「集合知の創発」という形で具現化するための基盤として「災害デジタルツイン」を構築します。将来実現される未来ビジョン(Society5.0のような順風としてのビジョンと、我が国が将来対峙する逆風としてのビジョン) に対してバックキャストして、デジタルツイン上で実現する機能を構築していきます。

災害デジタルツインでは、物理世界の多様な観測データと社会動態のデータをリアルタイムで仮想世界に取り込み、仮想世界におけるシミュレーション分析を行います。本プロジェクトでは、デジタルツイン上で、考えられる複数のシナリオや方策に対する効果を仮想世界のシミュレーションにより評価して何が最も望ましいかを検討することで、最良の施策を決定し、被災した社会が素早く回復するための方策や被災地の支援策となる「集合知」を導きだします。

・東北大学災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センターウェブサイト
<https://irides.tohoku.ac.jp/organization/resilience-center/resilience-center.html>

以上